

南 建 第 1 5 4 号

平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 様

静岡県賀茂郡南伊豆町長 鈴木 史 鶴 哉



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付、国道企第 37 号により依頼のあったこのことについて
別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

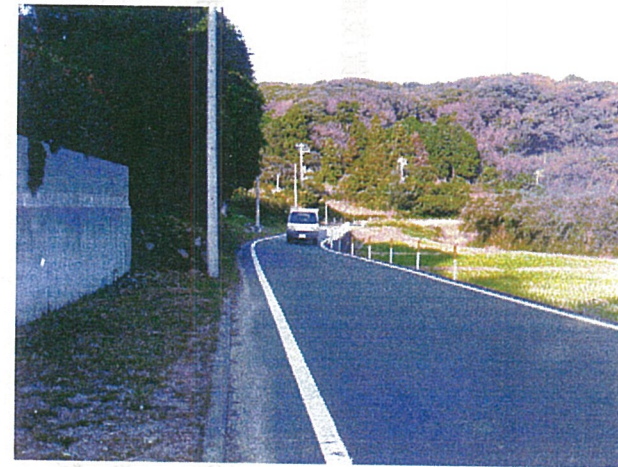
①道路行政全般について改善すべき点、要望など

静岡県南伊豆町

・地域の実情に合わせ、弾力的に道路整備が進められる様、過大な道路整備との指摘のある道路構造令（歩道幅員など）について、地域の状況に応じて柔軟に対応できるような改善が必要。

・無駄な道路が多いと言われるが、地方の道路整備は大型車両のみならず普通車のすれ違いにも支障をきたすなどまだまだ不十分である。地方の雇用、生活、文化、教育、医療、防災の観点から、日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備が進められるべきである。

国道136号二条・差田間狭隘箇所



」今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

静岡県南伊豆町

○ 現状

南伊豆地域は、豊かな自然や温泉に恵まれ、国内外に独自の魅力ある観光地として情報を発信するなど努力を重ねているが、地理的条件が厳しく、大雨等において生命・財産を守るライフラインの確保は十分とは言えない状況である。

また、夏季の観光シーズンともなると平日であっても慢性的な渋滞が生じ、最近では渋滞を懸念し観光客の減少が著しい状況にあり、第３次産業の就業率の高い当地域の大きな痛手となっている。

○ 課題

南伊豆地域への東海地震も予想される中、日常生活、災害発生時や緊急輸送時に観光客の安全のみならず、住民が安心して生活できる町づくりの一環として、通行規制や渋滞がなくスムーズに安心して走行できる道路建設が求められている。

また、効率のよい道路のネットワークづくりが求められているが、山地が多く地形が急峻であり道路形態も悪いことから、地域特性に応じた道路整備が課題となっている。



」今後の道路行政についての意見・提案

②－２地域の目指すべき将来像

静岡県南伊豆町

第１次産業、第２次産業と有機的に連携した観光振興を図るとともに、安心して生活できる基盤整備、福祉施設の整備等、長寿社会への対策と医療需要に対応できる医療機能の整備充実、恵まれた自然資源の有効活用により、町の持つ魅力、価値を最大限に生かした観光地づくり等、次世代に誇れるまちづくりの推進。

今後の道路行政についての意見・提案

③地域として取り組むべき重点事項

静岡県南伊豆町

活力ある地域づくり、次世代に誇れるまちづくり、安心して暮らせるまちづくり、町の持つ魅力、価値を最大限生かした観光地作りを推進するため伊豆縦貫自動車道、アクセス道路の建設が求められています。大型車のみならず普通車のすれ違いにも支障のある、日常の暮らしを支える生活基幹道路の整備、利便性の高い道路ネットワークの形成を図り、伊豆縦貫自動車道、アクセス道路が建設されることにより高速交通網へのアクセスを高められることから、観光産業を中心とした地域経済の面に関しても大きな役割を果たし、異常気象、緊急医療時に動じない『安心』のあるまちと、魅力ある自然を求めに来る人々が訪れやすいまちが融合するまちづくりをするために、伊豆縦貫自動車道の早期完成と短時間で大きな効果を発揮できる既存道路と一体となった道路ネットワークづくりが必要であると考えています。